

図書館利用案内を考える

黛 崇仁

東京歯科大学図書館

目的

「図書館利用案内」は図書館におけるパンフレット類の代表格であり、どこの図書館においても制作、配布されているものである。

日本医学図書館協会の第 77 次加盟館統計では、93 大学図書館のうち出版物として利用案内を掲載している図書館は 38 館あった。1 館あたりの発行経費は約 19 万円、1 部あたりの単価は約 121 円と、多くの図書館において費用をかけて注力している業務であることがわかる。

東京歯科大学図書館においても毎年作成していたものの、A4 判の冊子体で携帯性に乏しく、その内容も図書館の内容をすべて羅列したに過ぎず、利用者本位に作られたとは言い難いものだった。

平成 19 年度の図書館利用案内を作成するにあたり、その内容について検討を行った。

方法

図書館以外で配布されている商業施設のフロアガイド等を収集し、その特徴について調査を行った。また、他大学の図書館利用案内を収集し、共通して見られる特徴について調査を行った。そして、実際の配布対象や図書館利用者の行動様式とを比較し、本来求められるべき機能や内容について検討した。

今回の発表では作成した図書館利用案内もあわせて展示する。実際に手にとってみていただき、ご意見等いただければ幸いである。